

## 新年度 出張所の取扱業務を一部変更します



4月1日頃から中央出張所および千代田出張所で取り扱いする業務内容が一部変更となります。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどお願いします。

☎ 市民課（市民窓口センター）



	令和7年度	令和8年度
中央出張所 (下稻吉コミュニティセンター 旧 働く女性の家)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住民票、印鑑登録証明書等の交付</li> <li>●税証明書の交付</li> <li>●委任業務（一部）</li> <li>●収納業務〔派出所〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民窓口センターを案内</li> <li>●地域コンシェルジュによる連絡取り次ぎ</li> </ul>
千代田出張所 (千代田コミュニティセンター 旧 志筑小学校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住民異動届（転入、転出等）</li> <li>●マイナンバーカード申請、交付等</li> <li>●戸籍の証明書の交付</li> <li>●住民票、印鑑登録証明書等の交付</li> <li>●税証明書の交付</li> <li>●委任業務 ●収納業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●戸籍の証明書の交付</li> <li>●住民票、印鑑登録証明書等の交付</li> <li>●税証明書の交付</li> <li>●委任業務</li> <li>●収納業務</li> </ul>

### 変更点

●中央出張所  
住民票、印鑑登録証明書、税証明書等の交付と一部の委任業務、銀行派出所による収納業務を取りやめます。

●千代田出張所  
転入・転出などの住民異動届、マイナンバーカードに関する業務を取りやめます。  
※戸籍証明書、住民票、印鑑登録証明書、税証明書等の交付、収納業務等は引き続き取り扱いします。



## 4月～8月分の上水道基本料金を減免します

物価高騰などによる家計への経済的負担が増す中、市民や事業者の負担を軽減するため、重点支援地方交付金を活用し、上水道料金の基本料金分を減免します。

【対象】 かすみがうら市の上水道の使用者  
【期間】 4月～8月（5カ月間）

### 【料金の確認方法】

- 検針票には、減免前の金額が記載されます。減免後の金額を反映した検針票が必要な方は、上下水道お客様センターへお問い合わせください。
- 減免後の領収書は、再来月の検針日に発行します。再来月まで待てない方は、収納確認後に、納付済証明書（有料：200円）の取得により減免後の水道料金を確認できます。

### 減免のイメージ（使用水量 25m<sup>3</sup>の場合）

水道料金		減免前	減免後
基本料金	基本水量 0m <sup>3</sup>	1,650円	0円
超過料金	【1～10m <sup>3</sup> 】 49.5円×10m <sup>3</sup>	495円	495円
	【11～25m <sup>3</sup> 】 209円×15m <sup>3</sup>	3,135円	3,135円
メータ使用料	口径 20mm	110円	110円
合計額		5,390円	3,740円

### ❖詐欺などにご注意ください❖

- ▶この減免に対する手続きは必要ありません。
- ▶減免手続きをするために、市役所や上下水道お客様センターから電話や職員が訪問をすることはありません。また、銀行やコンビニのATMへ誘導することはありません。

☎ 上下水道課上下水道お客様センター  
☎ 029-897-2300

## コミュニティ・スクール がスタートしました! (学校運営協議会制度)

市は、今年度市内すべての学校をコミュニティ・スクールに指定し、中学校区ごとに「学校運営協議会」を設置しました。学校運営協議会とは、地域や保護者の代表である委員が学校と目標や課題を共有し、学校運営について協議する組織です。そこでの協議内容をもとに、地域の皆さまのご協力を得ながら教育活動や環境づくりなどを進めていきます。子どもたちの学びを支えることが、地域のつながりや活力を高めることにつながります。学校を中心とした地域づくりを進めていくため、皆さまのご理解とご支援をお願いします。

霞ヶ浦中学校区



下稻吉中学校区



千代田義務教育学校区



☎ 生涯学習課（千代田コミュニティセンター）

## 令和7年度 コミュニティ助成事業活用事例

### ❖「コミュニティ助成事業」とは❖

コミュニティ助成事業とは、一般財団法人 自治総合センターが宝くじの受託事業収入を財源として、コミュニティ活動に必要な施設や備品を整備するために助成しているものです。

### 防災倉庫などを整備

岩坪自主防災組織は、防災機関紙『岩坪防災だより』を毎月発行し、地元消防団と連携しながら初期消火訓練を定期的に開催しています。

今回、宝くじの助成金で防災倉庫などが整備され、ますます活発な活動が可能となりました。同組織代表の根崎 弥さんは「希薄化しつつある昨今のご近所付き合いを本活動を通して改善し、万が一災害が発生しても助け合って対処できる体制を整えていきたい」と語りました。

☎ 環境防災課（千代田庁舎）



初期消火訓練の様子

整備された防災倉庫と備品

